



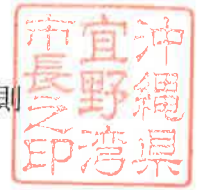
宜野湾市議会議長

令和元年 12 月 4 日

宜野湾市議会議長

上地 安之 殿

宜野湾市長 松川 正則



宜野湾市議会からの政策等の提言について（回答）

初冬の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、執行部の行政運営に多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

令和元年 9 月 27 日付け宜議第 315 号にて提言のありましたみだしの件につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 市におけるマイクロバスの所有について

市民及び市内各種団体等におけるマイクロバスの使用ニーズが高いことから、市が独自でバスを所有することについて、リース、レンタル等による契約を始め、防衛予算の活用及び新たな財源の確保、クラウドファンディングによる寄附の呼びかけ、資金造成イベントの開催、バスへの広告掲載等の手法により積極的に検討していただきたい。

【 回 答 】

マイクロバスの購入につきましては、厳しい財政状況を踏まえ、あらゆる手段を検討しておりますが、購入以外の代替案も選択肢に含めて継続して検討してまいります。また車両購入財源確保のほかにも、車両の維持管理、運転手の確保や保険の適用範囲などの課題がありますので、関係部署とも連携を図りながら検討してまいります。

2. シルバーパスポートクーポン券利用可能店舗の拡充について

75 歳以上の方を対象に交付されるシルバーパスポートクーポン券は、使用できる店舗の数や種類に地区の偏りがある状況である。市内全域で利用できるよう、地区の偏りを調査し、店舗の登録及び周知の方法を見直す等、利用可能店舗の拡充に努めていただきたい。

【 回 答 】

シルバーパスポート事業につきましては、宜野湾市行財政改革・集中改革方針 2019 にて、事務事業見直しの重点項目として位置づけられており、既存事業（特に一般財源の負担が大きい事業）については、その必要度や実施規模の妥当性、実施時期などの精査を踏まえ、

財源負担の大きいクーポン券の交付、利用にかかる事業につきましては「一時凍結」として取組の方向性を決定したところでございます。

つきましては、令和2年度以降において、超高齢社会に対応すべき新たな取組を含め、調査・研究してまいります。

3. 県道 34 号線の真栄原交差点から上大謝名区までの区間の交通安全対策について

当該区間は通学路にもなっているが、信号機のない横断歩道が数カ所あり、交通量が多く、速度を落とさずに走行する車両も多く大変危険な状況である。歩行者の安全を確保するため、歩行者優先の啓蒙・啓発等の対策を講じていただきたい。

【 回 答 】

当該道路につきましては、今年の7月に教育委員会が主体となって実施しております通学路合同安全点検で、教育委員会指導課、道路管理者、宜野湾警察署、市民生活課、周辺自治会、学校などと合同で、実際に歩いてみて交通安全のための点検を行ったところでございます。ご指摘のとおり、当該道路は、交通量が多く、速度も落とさずに走行している車両が多いことや、横断歩道が消えかかっている箇所もあるなど、歩行者にとって危険な箇所もあると認識しております。合同安全点検の結果、それぞれの関係機関・関係部署が課題として、それぞれで出来る対応を検討しているところでございます。市民生活課としましては、沖縄県中部土木事務所が計画しております宜野湾西原線（県道 34 号線）の大謝名から真栄原における中期的渋滞対策のための車道拡張の計画状況を勘案しながら、自治会、学校から信号機や横断歩道の設置について、要望がありましたら、市から宜野湾警察署を介して沖縄県公安委員会へ設置の要請を行いたいと思います。また、自治会などから要望がございましたら“歩行者優先”“スピード落とせ”などの看板を提供し、車を運転する方々への交通安全啓蒙を行ってまいります。

4. サンエーV21 佐真下店前の交通安全対策について

当該箇所は、歩行者や車両の交通量がふえる傾向にあるが、信号機がなく、たびたび事故が発生しており、大変危険な状況である。信号機の設置を含め、歩行者の安全確保のための対策を講じていただきたい。

【 回 答 】

当該道路については、平成 30 年 12 月 12 日に真栄原自治会からの要請を受けて、信号機や横断歩道の設置を判断する沖縄県公安委員会へ宜野湾警察署を介して要請を行っているところでございます。

今後、当該道路に密接な関係がある市道宜野湾 11 号の開通後の交通状況の変化を注視しながら、引き続き、宜野湾警察署へ信号機の設置要請を行うとともに信号機の設置以外にも、スピードが出ないような交通安全の啓発につながる看板の設置等を検討して参ります。

5. 嘉数小学校のスクールゾーン改善及び市内全域の通学路安全対策について

嘉数小学校のスクールゾーンは、登校時の交通量も多く、スクールゾーン表示が消えかかっている箇所もあり、スクールゾーンの有効性が薄れているため、改善していただきたい。

また、当該箇所のみならず市内全域の他の通学路等についても、通学路安全点検等の結果を踏まえ、危険箇所に応じた具体的な安全対策を講じていただきたい。

【 回 答 】

指摘のありました嘉数小学校のスクールゾーンの路面標示が消えかかっている箇所につきましては、今年の7月に実施しました、通学路合同安全点検でも把握している状況でございます。

道路のスクールゾーン表示の塗り直しについては、道路管理者、宜野湾警察署、学校関係者、周辺自治会などとも協議が必要であることから今後、対応を検討して参りたいと思えます。

また、市内全域の通学路についても、嘉数小学校と同様、今年7月に通学路合同安全点検を実施し、それぞれの通学路の危険箇所や改善が必要となっている箇所を把握しております。対策については、道路管理者、宜野湾警察署、市民生活課等、各機関において、それぞれのできる対策を検討している状況でございます。市民生活課では、通学路合同安全点検の結果から自治会へ交通安全への啓発につながる看板の提供をしており、必要があれば、宜野湾警察署を介して沖縄県公安委員会へ信号機や横断歩道の設置を要請してまいります。

以上